



令和8年7月17日（金）第8号
北九州市立特別支援学校
北九州中央高等学園
文責 校長 谷 義久

Kick スポーツフェスタ

はじめての室内開催 充実した1日になりました

生徒の皆さん、最高の kick スポーツフェスタでした。
競技を進めるにつれて学年を超えてそれぞれの色がひとつにな
っていき姿が見られました。

フェスタを終えてみんなで4つの拍手を送りあいましょう。

一つ目の拍手

本大会を運営するにあたり、会場準備を始め、計画を進めてく
れた先生方、会場をお借りした総合体育館の関係者の皆様に
感謝しましょう。先生方は今日も生徒たちの自立と社会参加を
目指し、現地集合、現地解散を安全に実施するため、早朝より
生徒の通学経路で見守りを行いました。

どうか生徒の皆さん、君たちの頑張りの陰には皆さんにかかわ
る多くの人たちの支えがあることを忘れないでください。多くの支
えに気づきながら、皆さんが卒業後、「与えられる人」から「与える
人」へと成長していくことを願っています。

支えてくれたすべての皆さんへ感謝の気持ちを込めて、拍手を
送りましょう。

二つ目の拍手

今回、縦割り色別で実施するにあたり、リーダーシップを発揮
し、1・2年生を引っ張った3年生の皆さん、本当にありがとう。そし
てお疲れさま。皆さんの頑張りに心からねぎらいと感謝の拍手を
送りたいと思います。

1・2年生の皆さん、どうか、今日、全校生徒でつないだ北九州
中央高等学園の新たな歴史を、来年さらに一つ上を目指して
発展させていってください。

リーダーシップを発揮した3年生と、1,2年生は来年に向けて
頑張る決意を込めて拍手を送りましょう。

三つ目の拍手

色団を引っ張った色長と大会運営を進めた実行委員、そして
各係の自分の役割を確実に丁寧に行った生徒の皆さん。大会

運営は競技者だけではできません。特に今回のような kick スポ
ーツフェスタは、生徒全員が、競技者であり、大会運営者となりま
す。生徒全員が役割を果たすことで成り立ちます。競技のみならず
大会運営に力を発揮した皆さん。お互いに拍手を送りあいましょ
う。

最後 四つ目の拍手

一つ一つの競技に全力で取り組む姿、そして学年を超えて
一生懸命に応援する姿感動しました。何より皆さんが勝って
喜び合う笑顔、輝いていました。競技ですから、勝敗が付きます。
負けても楽しんでいる姿。自分の力を出し切ったさわやかな
充実感がその表情から伝わってきました。

良い集団は良い文化をもつ。北九州中央高等学園には
「一生懸命な姿で観るもの、周りの人たちを感動させる」文化が
あります。学校生活すべてを一生懸命全力で取り組む。その姿
が、人の心を打つ。皆さんは、周りに感動を伝える素晴らしい力を
持っています。感動をくれた生徒全員に、心からの感謝の拍手を
送りたいと思います。本当にありがとう。感動を与えてくれた皆さん
お互いを拍手で称えあいましょう。

○ 保護者の皆様、今回の kick スポーツフェスタは会場も変わり、
競技種目も変わり、初めて尽くしのフェスタでした。改善すべき点
も多数あります。来年に向けて、より良い大会になるよう努めてま
いります。

生徒の今日の姿は、終日にわたり、熱いご声援を送ってくださ
った「多くの保護者の皆様」の応援があったからこそです。自分の
ためだけではない、誰かのためにと考えると力が発揮できます。
生徒たちも例外ではありません。お仕事等多様な毎日と
ぞん存じますが、今後も生徒たちの頑張る姿を見まもっていただき、
温かいまなざしを送っていただけるようお願いいたします。



アンケートのご回答がまだお済でない方は、ご協力をお願いいたします。

アンケート回答用URL <https://forms.cloud.microsoft/r/FwTtJAL37h>